

〈今回のご案内に関するQ&A〉

今回の対策について

Q1 どうして、このような対策を行うのですか？

A1 当行からのご案内や各種報道等にてご存知かと思いますが、昨年の夏以降、全国的にインターネットバンキングを利用した不正犯罪が広がっており、また手口も高度化していますので、お客様の大切な財産をお守りするために必要な対策をとらせていただきました。

電子証明書について

Q2 電子証明書方式に切替えると新たな利用手数料などが増えますか？

A2 新たな利用手数料などは発生しません。IDパスワード方式も電子証明書方式も月額基本手数料は同額です。

Q3 電子証明書方式に切替えると利用できるパソコンは1台だけになりますか？

A3 いいえ、電子証明書方式では、複数台のパソコンを利用することが可能です。
(最大 20 台、ただし、電子証明書は1契約者さまで最大 20 枚まで)
【例】 経理の統括者さま1名、経理の担当者さま2名の場合は3台のパソコンで利用可能です。

Q4 ビジネスバンキング Web を1台のパソコンで複数人の経理担当者が利用していますが、電子証明書は1枚とになりますか？

A4 いいえ、電子証明書はユーザー ID 単位（経理担当者さま毎）で発行できますので、1台のパソコンを2名の経理担当者さまがお使いの場合は、2枚の電子証明書を発行することができます。

ご注意 電子証明書は1契約者さまで最大20枚まで発行が可能です。
【例1】パソコン1台に1枚ずつの発行であれば20台までご利用可能です。
【例2】パソコン1台に2枚ずつの発行であれば10台までご利用可能です。

Q5 1台のパソコンに複数枚の電子証明書を取得した場合は、どのようにログインをするのですか？

A5 ログインをする際は利用するユーザー毎の電子証明書を画面上で選択していただき、パスワードを入力してログインします。

Q6 Mac OS Xのパソコンを利用していますが、電子証明書は利用できますか？

A6 大変申し訳ございません。Mac OS のパソコンでは電子証明書はご利用いただけません。予めお振込先をご登録いただく「受取人番号入力方式」では当日振込・振替をご利用することはできますが、「Web方式 当日振込・振替」はご利用いただけません。

振込・振替について

Q7 IDパスワード方式と電子証明書方式との振込・振替メニューの違いを教えてください。

A7 平成 24 年 3 月 12 日以降は以下のとおりになります。○が利用できるお取引です。

ログイン方式	Web方式		受取人番号入力方式	
	当日扱	予約扱	当日扱	予約扱
IDパスワード方式	×	○	○	○
電子証明書方式	○	○	○	○

Q8 Web方式と受取人番号入力方式の振込方法の違いを教えてください。

Web方式	<p>① 新たに振込が必要になった場合に、銀行名、支店名、口座番号などを都度入力をする振込方法です。</p> <p>② 3月12日以降、IDパスワード方式では当日扱の即時振込は出来ませんが、入力した翌営業日以降に振込処理が完了する予約扱の振込手続きができます。電子証明書方式では当日扱の即時振込は可能です。</p> <p>③ 一つの支払口座から振込できる一日あたりの限度額の上限は1000万円以内でお客様がご指定できます。</p>
受取人番号入力方式	<p>① 毎月定例の振込があるお振込先や1回の振込金額が高額なお振込先を予め登録いただくことで、取引操作を簡単にする振込方法です。※ご登録には銀行窓口で所定のお申込が必要です。</p> <p>② 当日中の即時振込や入力した翌営業日以降に振込処理が完了する予約扱の振込手続きができます。</p> <p>③ 一つの支払口座から振込できる一日あたりの限度額は、お客様がご自由に指定できます。1億円を超えるご指定は別途内容確認をさせていただきます。</p>

お申込手続について

Q9 現在「Web方式 当日振込・振替」の利用申込はしていませんが、「電子証明書方式」に切替えることで利用できるようになりますか？

A9 いいえ、今回のご案内は「Web方式 当日振込・振替」のご利用申込の有無に関係なく、IDパスワード方式を利用している全てのお客様にいたしました。従って、現在ご利用申込をされていないお客さまは「電子証明書方式」への切替と「Web方式 当日振込・振替」の利用申込をお取引店にてお手続きください。